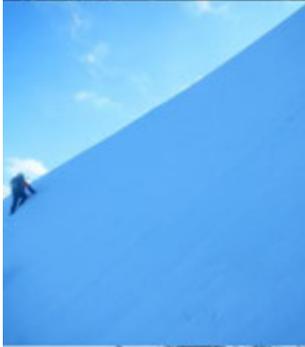
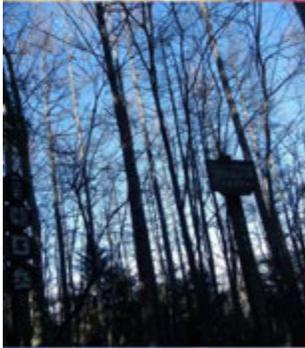


Primula



Vol.105

プリムラ山の会



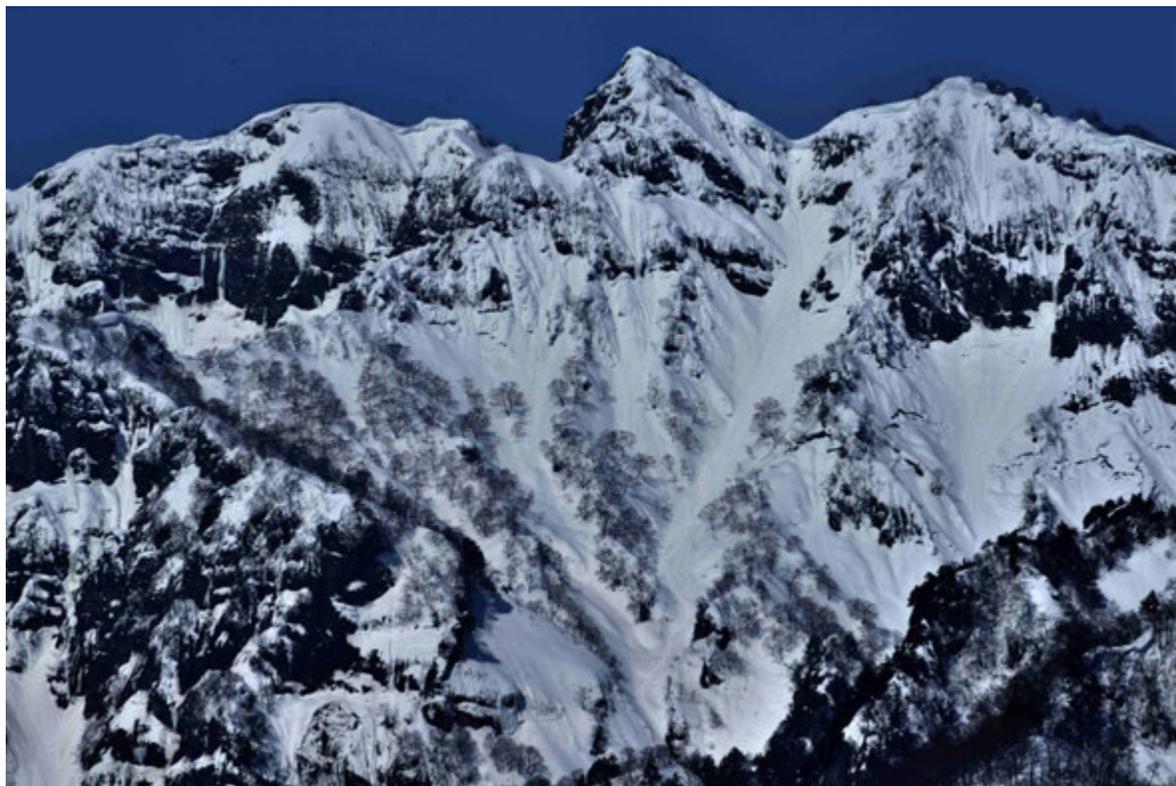
目次

In a shot	1
お題：「山の計画どうしている？」.	3
今年こそ光岳に行けるのか 初鹿 裕康	5
子連れハイク（5歳）市瀬 江利子	8
積雪期のマイナールートも楽しいワン U^ェ^U その24 初鹿 裕康	11
景色を見ながら . . . 初鹿 裕康	13

In a shot

登りたかった壁・戸隠 岡 孝雄

2017.03.18 撮影



戸隠スキー場からの本院岳

まだスキーをやっていた頃、戸隠のスキー場から見た戸隠山の圧倒的に切り立った雪稜に驚き（当初、正面から見ると意外と急峻に見える等とは解らなかった）何時かは登ってみたいと漠然と思っていた。山岳雑誌に発表されるグループ・ド・モレーヌや東京心岳会の記録に刺激こそ受けるものの、計画は具体化せず憧れだけに終わってしまった。何故かと考えてみると、まず登りたいと思う気持ち情熱がなかった！という一言に尽きるようだ。地形・ルート・気象・戦略・等の研究があつて初めて計画の具体化がなされる。地域的にはそれ程遠くないにもかかわらず、比較的マイナーな山城だけに、ネームバリューに乏しく情報量も少ない。まして自分の周辺では、同行者パートナーの発見する環境が少なかったこと等を優先して考えていて、行かない口実を作っていたのが原因のようだ。その後何度も訪れていたが、どうしても登りたい！という意欲が湧いてこなかった。



鬼無里からの西岳

鏡池には撮影によく出かけるが、5年程前「カモシカ発売のSP27の入った耳宛てのある帽子」を被っていた所、偶然にもそれに気付いた人から声をかけられた。以前Jeccのメンバーで現在は戸隠牧場主で池畔の「どんぐりハウス」に毎朝ミルクを運んで来るそうである。やはり写真を撮影しており、戸隠の歴史やら撮影ポイントを教えてもらった。一昨年には品沢高原で撮影ポイントを探していたら、開拓者のグループ・ド・モレーヌの「小林善富」氏に出会い、当時の思い出話を時を忘れた。現在では「日本山岳写真協会」に所属し（岡も同所属）山屋の写真を発表している。戸隠周辺には山屋が多いようだ。

鹿島槍や岩岳スキー場から後立山の撮影を予定していたが、生憎天候に恵まれずに落胆したが、戸隠方面ではどうか？と思い帰路に寄ってみた。途中鬼無里を過ぎ、上楠川の橋の袂に車3台駐車していて、登山準備をしている数名を見かけた。登山者を見たのは初めてであり今の時期に西岳に登る人もいるのには驚いた。軽くエールを送った。春霞が漂っていたが、デジタルカメラの特性を生かして現像の段階で何とか観られるものとなった。

2月のプリムラ例会で、「戸隠に登りたいが誰か関心のある人はいない！？」「冬山復活ですか？」との会話を耳にした。どうしてもプリムラで登ってもらいたい！との願いを込めての「In a shot」でした。

山の計画どうしてる？

(H.S)

最初のドロミテの時は、8ヵ月位前から準備を始めました。無数にあるルートから、なんとなく惹かれるルートをピックアップし、ベースとなる町を決め、航空券、レンタカー、アパート、ホテル、保険の手配、地図の購入など。一番辛かったのはルートの翻訳でした。(日本語で書かれたものは、ほとんどないので) 普段は家に帰ると、すぐビールを飲んでしまうので、雨で仕事が休みになった時に、このルートの翻訳が終わったらビールを飲もうと自分に言い聞かせながらやっていました。2回目以降は準備も楽になりましたが、最初のドキドキ感がなくなるのが寂しかったです。

当日のお互いの仕上がり具合で、翌週行く岩場はすぐに決まります。何もトライしていない時は、トポのコメントが気になるルートや、人が勧めてくれたルートがある岩場を見に行き、第一印象で登ってみたいと思えばSさんにその旨をお伝えし、Sさんも付近に気に入ったルートがあれば確定する感じです。

(R.O)

行きたいルートはバリエーションもアイスもフリーも山ほど有るけど老い先も長くない。暇とお金と特に実力不足のため、今年は専らフリー三昧。でも一番大事なのは信頼できるパートナーですね。

↑前回の話題??

(M.S)

(H.H)

行く相手が決まったら、相手のレベルに合わせて基本自分の引き出しの中からルートと場所を選定。エスケープはどうか。パートナーの同意を得て決定する。泊りなら概要を1か月前には決めるようにしている。水が得られないような山なら、それなりの食糧計画も考えなければならぬ。計画を立てれば登山の90%は終了していると昔の本には書いてあったが、激しく同意。あとは実行に移すのみ。

最近インターネットを駆使すれば、かなりの確率で悪天を避けることも出来る。天気が悪かったら、転進することも、場合によっては計画時に次のネタを考えていたりもする。

計画を立てることの大切さを分からない人と組むことはまずない。

山の計画。昔はガイド本見ながら、どこに行こうかなーとわくわくしながら探していたものですが、最近は日帰り、しかも子連れで、色々制限があるし、時間も取れないし、もっぱらインターネット検索です。本当は行きたいところをストックしておいて、いつでも候補がある状態でいればベストだけど、なかなかそこまでの余裕もなく、行く日程が決まってから、メンバーや、コースタイム、天気などを考えつつ、2、3日前までに決める（決めてもらう？）ような感じです(^_^;)。

(E.I)

今年こそ光岳に行けたのか (by 年末年始)

初鹿裕康

【コースタイム】

12/28 移動

12/29 寸又峡(8:04)－林道(8:45)－朝日岳(12:54) (13:15)－寸又峡(16:21)

12/30 移動

12/31 恵那山神社(7:51)－登山口(8:25) (8:34)－中の小屋跡(10:07)－空峠(13:07)－避難小屋(16:09)

1/1 (7:23)－恵那山(7:30)－避難小屋(8:01) (8:25)－空峠(10:06)－中の小屋跡(10:35)

－登山口(12:23)－恵那山神社(12:47)

【パーティ】初鹿 裕康、水野 奈保美、栗原 英一(杉並山の会)

27日の夜畑薙第一ダムの手前の富士見峠を目指して新東名を走る。午後には止んでいるはずの雨がなぜか激しく車体を打ち続けている。まあ、宿泊予定地の富士見峠に着く頃には止むだろう。途中で畑薙方面通行止めの看板があったが、ネットで調べてもそんなことはどこにも書いていないので、そのまま進む。結構時間が押してきてしまっただけで富士見峠手前の道路脇の空き地にテントを張っての入山祝いとなる。雨は止んでいる。翌日は富士見峠を越えて順調に田代の部落へ。しかしこの先のトンネル入り口に監視員のおじさんが……。昨日の雨で道路が崩れてこの先はいけないとか。途中にある白樺荘の従業員も戻れなくなったとか言っていた。今日が仕事納めで今日中に開通しなければ4日以降にならないと無理らしい。もし開通してもまた崩れてしまうと4日以降にならないと出てこられないとか。畑薙第二ダムから登るルートも可能なのだが、その手前で土砂崩れだそう。徒歩でも無理なそう。想定外ですなあ。ネットで調べても出ていないはずだ、昨日なら。

作戦を立てるべく田代の公衆トイレのあたりに行くと、やはり行き場を失った単独行の方が。荷物整理をしながら、この先行く山を考えてみたが大無限山は近いけど食指が……。なんて話をしているとパトカーのお巡りさんがやって来て、ここではあまり長居をしないでください。看板に書いてありますから。とのこと、この辺にうるさい住人もいるのかな。まあ、一番近いところで寸又峡あたりの黒法師岳はいかがでしょう。と言うところで早速寸又峡へ向かう。途中でミニ電車を見て観光なんぞしながら。寸又峡には、どでかい駐車場があったのでそこでテントを張ることにする。周りに車は一台もない。周りの山を見ても雪は全く見えない。寸又三山は朝日岳・前黒法師岳・沢口山であり黒法師岳に行くには1泊か2泊が必要。しかし、上に雪がないと水が取れないので持ち上げなければならないし、雪山じゃなくね？と言うことで偵察がてら、標高が2番目に高い朝日岳に日帰りで行ってみることにする。とりあえず今日はホテルの温泉に入って温まろう。

朝日岳は登山口からは急登の連続。頂上近くになっても全く雪の欠片もない。頂上行ってもほ



とんど雪はない。景色もあまり見えないし。こりゃ、黒法師岳にも雪はないか……。下りながらさてどうしようを考える。八ヶ岳も雪がないし、雪が確実にあるのは北アルプス。西穂高あたりではいかがでしょう。とりあえず今日も風呂に入ってテントに戻って宴会しながら新穂高温泉に向かうことに決める。翌日車を走らせながら考える。よく考えてみればかなり遠いし、調べてみると山小屋ではカウントダウンするみたいだし、なんだか人も

かなり多そうで、調べれば調べるほどいやになってしまう。途中、中央道を横切るので、ん～それまでに考えよう。長い移動の途中で朝飯、昼飯を食べる。PAにはなぜか吉野家とはなまるうどんのお店ばっか。そうだ、恵那山なんかはどうだろう。近くだし。たぶん冬季、林道は通行止めになっているので、ゲートから登山口が近い恵那山神社から前宮コースに登ることにする。その前にスーパーでうまいものでも買おうかと買い出し。たまにはキムチ鍋でも作るべえ。恵那山神社では栗原さんが神主さんと話をつけてくれて、駐車場で泊まらせてもらう。恵那山のルートでは一番きついルートらしいのだが、登山口がゲートから一番近いのでここにするしかなかった。でも、ここは恵那山の前宮。奥宮は恵那山の山頂にある。正月にはとっておきのクラシックル



ートだ。でも標高差 1600m なんだけど……。林道をしばらく歩くと登山口。このポストの登山計画書を見ると、前日に登って帰ってきているパーティがいるようだ。ここで渡渉。足跡が錯綜しているが結構簡単に渡れた。そのあと足跡を見かけなかったので、もしかして渡渉失敗して帰っちゃったのかなあ、なんて冗談を言いながら登る。とにかく一昨日に引き続き急登に次ぐ急登っ

てな感じである。途中から遠くに恵那山の山頂台地が見える。でかい山だなあ。ただただ、登りに喘ぐ。やっと頂上台地に着く。三の宮あたりに行くと足跡が出て来る。他のルートから登って



きた登山者がいるのか？まあ大晦日だから誰もいないなんて虫のいいことはないだろう。頂上台地を移動して小屋に行ってみると誰もいない。やった一貸し切り。トイレも別棟があって立派だ。小屋の中には銀マットと毛布が多数置いてあったので使わせてもらう。そんなに大きな小屋ではないので貸し切りはうれしいなあ。そして大晦日。年越しそばはないが酒はある。酒を空にして就寝。

そして元旦。ご来光は樹林の間から望めた。下山の用意をしていると水野が靴の紐を通すところが切れたとかのたまう。俺のも前に切れたよと返事。アイゼンをはいて空荷で恵那山山頂へ。山頂には展望台があるが、あまり景色は望めなかった。あとはひたすら下るだけ。今日の12時から恵那山神社で文楽をやるらしい。間に合うかなあ。下りも結構時間がかかる。靴の前があつたって痛い。靴下が厚かったかなあ。あまりにも痛かったので、渡渉が終わったところで持って行ったサンダルに履き替える。恵那山神社では文楽が終わったところだったが、階段の一段ごとに蠟燭が灯っていた。夜は奇麗だろうなあ。近場の風呂に入って帰京。まあ、雪もそこそこあったので良かった。

家に帰って靴を干してみる。なんか小さい感じ。壊れていた所が直っているぞ。もしかしてこの靴水野のかあ。どうやら山頂小屋で間違えたらしい。

—栗原さんから—

夢のような6日間でした。私としては精いっぱい頑張りました。達成感もありました。初鹿様の案がなければ今の私にはとても計画できるものではありません。ありがとうございました。水野様にも感謝です。無口なふたりだったら6日間うまくやっていたでしょうか。お二人に・・・ありがとうございました。また今年もよろしく。

2017.1.8

栗原英一



子連れハイク (5歳)

市瀬 江利子

2017/1/17 景信山 (727m) 餅つきハイク No. 42

メンバー： 山里、初鹿、水野、市瀬、他大勢

恒例の餅つきハイク！美味しいお餅をたっぷりいただきました！！







積雪期のマイナールートも楽しいワン U^ェ^U その24

—北八ヶ岳・天狗岳東壁（仮称）左尾根の巻—

初鹿 裕康

【コースタイム】

3/11 晴 登山口(10:30)ーしらびそ小屋(12:17)ー稜線(16:06)ー中山峠(17:29)ーしらびそ小屋(18:23)ー登山口(19:21))

【パーティ】小堀 和貴、初鹿 裕康、栗原 英一（杉並山の会）

土曜日の1日だけで小堀さんが栗原さんとどっか出掛けるというので便乗。アイスとか言っていたのをスルーし、勝手に計画を考える。朝あまり早く出られないというので、日光白根の東稜は関越の渋滞にはまりそうなのでパス。男体山の大薙ルートは長いし、結局小堀さん発案の天狗岳の東壁で落ち着く。前回は天狗岳正面壁左尾根を登った。中央高速の多少の渋滞にはまりながらも10時時に登山口着。今日はヘッデン必須だねえ。しらびそ小屋泊まりらしいパーティが、楽しそうに登る中をヘルメット持って登る。日帰りだと荷物が軽いので楽である。しらびそ小屋で天狗の東壁を確認する。中山峠に向かう二つ目の道標のところが東壁への分岐点である。一旦この樹林帯に入ってしまうと東壁自体が見えなくなってしまうので、今日はなるべく左に行くことにして、わかんを履いて進む。真ん中あたりを行くと1時間もあればだだっ広い雪面に出るのだが、かなり左に登ってしまっているののでいつまでたっても雪面に出ない（まあ、いいんだけどさあ）。結局最終的には左から登ってくる尾根に突き上げる。ここから稜線を登るのだが反対側は切れ落ちていて、稜線は樹林で急。雪は固まらない。わかんをひっかけながら枝をかき分けて登る。栗破産はスノーシューなので、ここでアイゼンに履き替えている。何とか雪面に出ると左上部の雪が崩れて落ちてきていた。動物でも通ったのかなあ、なんてのんきなことを言いながら進む。急な雪面をわかんのままトップで登って行く。さっき崩れていた場所に出ると固い雪の層が出ていて歩きやすい。そこが終わると稜線まではあと少し。表面のちょっと下に固い層がある。ちょっとやばいかなあ。かなり上部に登って来ている。最後の大きな木の所で私先行し、小堀さんに、ちょっとやばそうなので待っていてもらい先行。栗原さんはだいぶ遅れている模様。5m位登ってブッシュを掴んでいた所で、目の前の雪の層が剥がれて崩れ落ちてきた「あゝ〜」と叫びながら、ブッシュを離さないように踏ん張る。私に直撃してくる雪版？は足に当たって砕けて下に落ちていく。ものの5秒位で終了。小堀さんは木の股に跨っていたそうだが、雪がたまってきて押し出されるかと思ったと後で言っていた。ほぼ頂上直下は間違いないが、さらにその先にも似たような雪が今回で落ちきれていず、そこに突っ込むのはさすがにやばそう。ちょっと下って小堀、栗原と合流。だいぶ下にいた栗原さんはこのまま直上して、突っ込みたそうだったが、現場にいた二人はさすがに躊躇。二人はここでアイゼンに履き替え、ちょっと下って左にトラバースして稜線に抜けることに。5mも下れば雪質も変わって、あっさり稜線にトラバース出来た。めでたし。

風は強いがよく踏まれた稜線を東天狗岳に登り、中山峠で休憩。今日は満月なのでヘッデンはい



らないかなあ。積雪期の方が楽な中山峠からの下りをアイゼンのまま歩きしらびそ小屋。小屋の中は夕食かな。夕闇の天狗岳東壁を眺め、ここからはヘッドンをつけて歩く。夜、雪山を歩くのは結構楽しい。街の夜景が見えてくると登山口も近い。閉店ぎりぎりです八峰の湯に入って日付の変わるころの帰宅となった。お疲れ様。場所は日本登山大系に尾根としては載っているがルートの記事はなかった。仮称左尾根ということで。写真を見ると真中の雪面は思いっきり

雪崩れて剥がれているねえ。



赤線
今回のルート

景色を見ながら

—第8回 いわきサンシャインマラソン—

初鹿 裕康

去年の9月1日から受け付け開始なので、出るつもりはなかったが早いなあと思ってFBしたら、元会員の渡邊（くみばあ）から、「私も参加するから出ようよ」とのお誘い。毎年大会終了後はいわきに泊まって反省会だそう。水野を誘ったらのってきたので、ばあのアパートに前泊して参加することになった。でも、よく考えてみたら福島に泊まって、茨城の大会に参加するのって、なんか変？土曜日の夕方に福島着。渡邊に高級な山菜定食をご馳走してもらい早々と寝る。翌日は4時起床。

ナンバーカードと靴に付けるチップは事前に送られてくるので、当日の受付はなし。ばあのアパートから、ばあ仲間との集合場所まで行って車を乗り継ぎ、2時間ほどかけて大会の駐車場へ。シャトルバスに乗ってスタート地点へ。前日にパンフを見たらスタートとゴール地点が違っていたのでゴールに送る荷物の手配も。

Aブロックだったのでスタートは、まあスムーズ、スタートしてすぐに軽い登り。そのあとは海まで下っていく。海の方に下って行くと応援がすごい。毎年楽しみにして応援してくれているのだろう。5km25分を切るくらいでいければ3時間30分切れるか。せめて3時間30分台では走りたい。前半は順調。特に問題なく分を刻む。しかし、折り返して海沿いの道に出ると、強い浜風が向かい風となって吹いてくる。22km過ぎからは短い急な登り。上に着くとイチゴが置いてあるエイド。いったん下って再び強い浜風の吹く海岸線を走る。しかも冷たい風なので身体の動きが悪い。しかし、ボランティアが一杯いて、合図すればスプレーしてくれたりもしている。最後の方にゆるく長い登りが続き、35km地点では1km6分くらいのペースになってしまう。やばいでしょ。最後の折り返しからは緩い登り。もしかしたら自己ワーストタイムになっちゃうかも。それが終わると今度は追い風での下りとなる。ここで何とか踏ん張ってリズムを取りながら走る。この走り結構選手を抜く。最後は久しぶりに、かなりいいペースで走れた。最後の1kmあたりで足が吊りそうになるが、太ももを叩いてしのぐ。40分切れるかとも思ったが結果は40分48。惜しかった。でも最後の5kmが思いのほか速く走れたので嬉しい。去年の勝田は最後はボロボロだったからねえ。最後の2.195kmは勝田より1分近く速く走れたし。コース的には後半が結構厳しいコースだった。勝田はほぼ平坦だから。結果を詳しく分析すると勝田の時は上位25.1%に入っていたが、今回時間はあまり変わらないけど上位12.8%に入っていた。結構頑張れたかなあ。5本指の靴下で珍しく豆も出来なかったから最後まで頑張れたのかも。



ゴールしてすぐにマッサージに申し込んだら 30 分待ち。着替えてマッサージに。かなり痛くされたが結構効いたようで筋肉痛もあまり残らなかった。さんまのつみれ汁やらカジキマグロの肉まんなどをタダでもらって、水野、渡邊を待つ。しかしゴール地点で待っている間も風が強くとっても寒い。二人のゴール後、いわきのホテルに行ってお風呂に入って昼寝してから宴会に突入したのでした。で、撃沈。

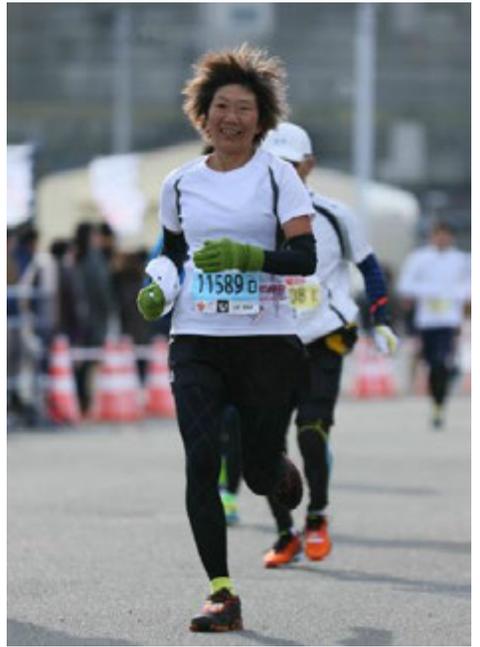
2/12 第8回いわきサンシャインマラソン(42.195km)

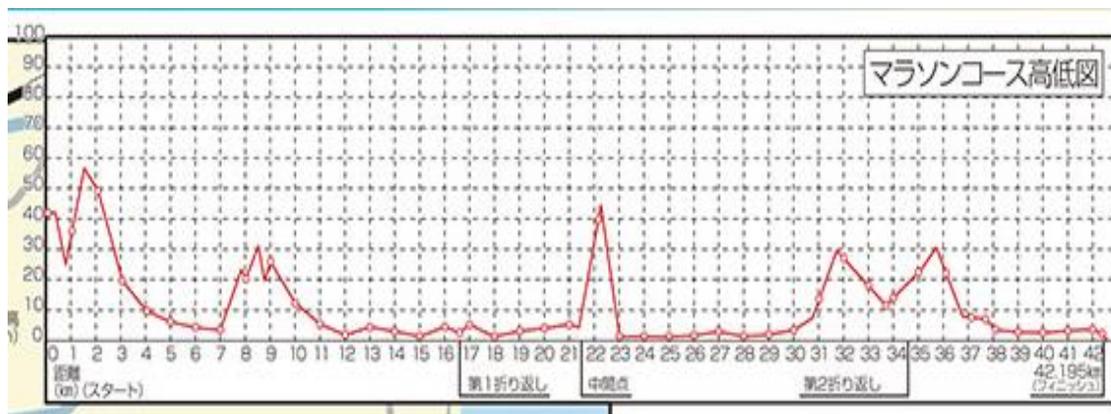
総合 765/5971

結果↓

5Km	24´20		
10Km	48´49	24´28	
15Km	1°13´10	24´21	
20Km	1°38´25	25´14	
中間	1°44´02		
25Km	2°05´01	26´36	
30Km	2°32´54	27´53	
35Km	3°02´54	30´00	
40Km	3°29´21	26´27	
ゴール	3°40´48	11´30	ネット 3°40´30

初鹿 裕康	3°40´48	男子完走者	738/4505	年代別 50 歳代	87/862
渡邊 久美重	5°24´39	女子完走者	491/708	年代別 50 歳代	103/149
水野 奈保美	5°38´11	女子完走者	577/708	年代別 50 歳代	123/149





—最大酸素摂取量測定—

夏から予約の電話をかけていたが、取れず3月までずれ込んでしまった。2年ぶり。靴がいまいちの靴なのでいざトレッドミルに乗ると走りにくい気が……。倒れるまでは足ろうと思うが足がついていかない。ふくらはぎの筋肉がついていかない。本当は速さと斜度についていけなくても、トレッドミルの後ろに落ちていくまでやるらしいのだが、そこまではやらずに目一杯というところで手を挙げて終了。最大心拍数 151 で終わってしまっていた。残念。VO2MAX 44ml/kg/min で終わってしまった。

もっとハードに走ったりするのが今年度の目標。次の検査に向けて頑張るべえ。





山行一覽

NO.	山行日	山域	ルート	参加者	他	区分
4215	12月7日	高尾・道志	陣馬山～高尾山	初鹿		トレイルラン
	12月10日	12月11日	プリムラ祭			
4216	12月11日	奥多摩	三頭山	初鹿 水野 市瀬 北原		4 ハイク
4217	12月11日	伊豆	城山	小田 佐藤		フリー
4218	12月17日	12月18日	奥秩父 白泰山	初鹿 水野		2 雪山
4219	12月18日	伊豆	城山	小田 佐藤		フリー
4220	12月23日	中央沿線	鬼類山	初鹿		1 ハイク
4221	12月24日	伊豆	城山	佐藤		2 フリー
4222	12月24日	中央沿線	入笠山	初鹿		1 雪山
4223	12月25日	伊豆	城山	小田 佐藤		フリー
4224	12月25日	奥多摩	越沢バットレス	桜井		岩トレ
4225	12月28日	南ア前衛	寸又峡 朝日岳	初鹿 水野		1 雪山
4226	12月30日	12月31日	八ヶ岳 赤岳～硫黄岳	小堀 山里 北原		雪山
4227	12月31日	1月1日	中ア 恵那山	初鹿 水野		1 雪山
4228	1月13日	赤城	赤城山	岡		写真山行
4229	1月2日	那須	茶臼岳	岡		写真山行
4230	1月3日	常陸	筑波山	岡		写真山行
4231	1月4日	箱根周辺	幕岩	平 桜井		岩トレ
4232	1月5日	奥多摩	天王岩	桜井		岩トレ
4233	1月6日	1月7日	赤城 赤城山 地蔵岳	岡		写真山行
4234	1月7日	中央沿線	大見山	初鹿		トレイルラン
4235	1月7日	伊豆	城山	小田 佐藤		フリー
4236	1月7日	1月8日	伊豆 城ヶ崎	水野		2 フリー
4237	1月14日	1月15日	北ア 白馬岳周辺 スキーレスキュー	北原		山スキー
4238	1月14日	伊豆	城山	小田 佐藤		フリー
4239	1月15日	高尾・道志	景信山	初鹿 山里 水野 市瀬		多 ハイク
4240	1月18日	箱根周辺	幕岩	平		1 フリー
4241	1月21日	1月22日	伊豆 城ヶ崎	水野		4 フリー
4242	1月21日	奥多摩	青梅丘陵	初鹿		トレイルラン
4243	1月22日	常陸	赤城山	岡		写真山行
4244	1月22日	奥多摩	越沢バットレス	桜井		岩トレ
4245	1月23日	常陸	赤城山・不動沢大滝	岡		写真山行
4246	1月27日	奥多摩	白妙橋	佐藤		? フリー
4247	1月28日	南ア	濁沢	小堀 初鹿		1 アイス
4248	1月28日	伊豆	城ヶ崎	水野		
4249	1月28日	伊豆	城山	小田 佐藤		フリー
4250	1月29日	奥多摩	聖人岩	小田 佐藤		フリー
4251	1月29日	北八ヶ岳	根石岳	北原		1 雪山
4252	2月4日	奥武蔵	大高山	初鹿		トレイルラン
4253	2月4日	奥多摩	本仁田山	平		ハイク
4254	2月4日	那須	峰の茶屋	岡		写真山行
4255	2月4日	頸城	黒姫山	北原		山スキー

4256	2月4日	-	2月5日	伊豆	城ヶ崎		水野				3	フリー
4257	2月5日			頸城	妙高山		北原					山スキー
4258	2月11日			北八ヶ岳	稲子湯周辺		岡					写真山行
4259	2月12日			北ア	新穂高周辺		岡					写真山行
4260	2月12日			奥多摩	聖人岩		小田	佐藤				フリー
4261	2月17日			那須	三本槍(退)		初鹿				1	山スキー
4262	2月18日			那須	塩沢山(退)		初鹿				1	山スキー
4263	2月18日			奥秩父	雁坂峠		平					雪山
4264	2月18日	-	2月19日	瑞浪	屏風岩		水野				2	フリー
4265	2月19日			奥多摩	聖人岩		小田	佐藤				フリー
4266	2月22日			奥多摩	白妙橋		佐藤					フリー
4267	2月25日	-	2月26日	谷川周辺	阿能川岳		初鹿	山里	水野	北原	1	雪山
4268	2月26日	-	2月27日	中ア	宝剣岳		岡					写真山行
4269	2月26日			奥多摩	聖人岩		小田	佐藤				フリー



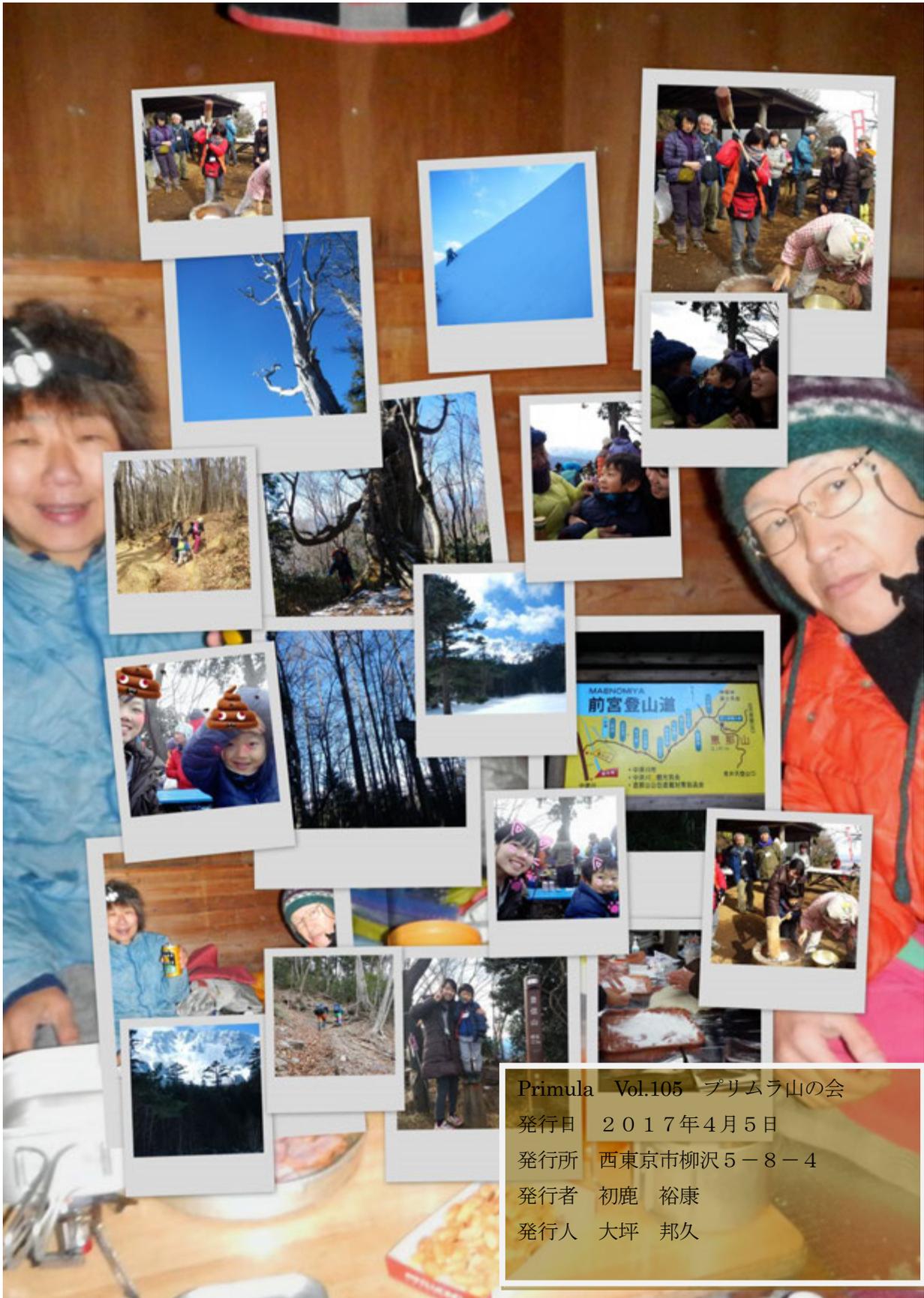
編集後記

山の計画立てるのはエネルギーがいる。昔は図書館でよく日本登山大系を借りていたものだった。今はネット。でもネットにも出ていないようなマイナールートに行って新しい発見をするのも楽しい。でも、きちんとした計画を立てるのには一度も行ったことがない山域だとなかなか難しいものだ。その山域の特殊性とかもあるし。2回目になってくると山の概要が見えてきたりもする。より良い計画を立てるには経験値というものも大事だ。(H)



はっちゃんごろうさま～出力担当のM野でえーす。
去年の夏あたりから思い出したように沢や正月山行やマラソンや雪洞とかにくっついて行ってますが何か。なんかもう自分でなんか考えるの面倒くさいわあ（前は考えていたような口ぶり）その点、スポーツライミングは同じところ行って登れた登れないとかやってるだけ。ある意味楽だよ。しかも「山行」計画じゃなくね？って気が（おっとここつまんどいてくれ：M野）





Primula Vol.105 プリムラ山の会

発行日 2017年4月5日

発行所 西東京市柳沢5-8-4

発行者 初鹿 裕康

発行人 大坪 邦久